日刊木材新聞
発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03・3820・3500
FAX03・3820・3519
総務・販売 ☎03・3820・3511
FAX03・3820・3518
http://www.n-mokuzai.com/
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1カ月 6,000円
©日刊木材新聞社 2010
本紙の無断複製（コピー・PDF）配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

おかげさまで 創刊65年
木材建材ウイクリー Japan Lumber Reports

建材・住設の巨大電子カタログサイトへ

建材・住宅設備産業協会「カタらボ」

流通業者対象に賛助会員制度

㈳日本建材・住宅設備産業協会が昨秋、建材・住宅設備メーカーの電子カタログをまとめたウェブサイト「カタらボ」を開設してから約1年が経過した。当初、メーカー103社が参加、カタログ3万ページを超える巨大電子カタログに成長している。9月からは新たに流通業者を賛助会員として迎える制度を設け、実際の営業販売に電子カタログの活用を提案している。9月末現在で、住友林業や大手3大問屋など9社が賛助会員として参加し、独自の活用を展開し始めた。

カタらボは、参加企業の全カタログのなかから目的の商品をメーカー名、カテゴリ別、キーワードなどで検索、選び出し閲覧することができるウェブサイト。各企業のカタログやウェブサイトを個別に調べる手間が大幅に軽減される。同規模でのカタログサイトの運営は、建材・住宅設備業界では初の試みだ。

通常、建材・住宅設備メーカーが自社ウェブサイト上で公開している電子カタログは、1カ月100万件を超えればトップクラスといわれるが、カタらボは9月の月間アクセス数が1000万件を超え、驚異的な速さで認知、利用が進んでいる。

住友林業など9社が加入

このカタらボはこれまで、カタログを掲載する建材・住宅設備メーカーの参加を受け入れてきたが、9月から新たに製品を取り扱う商社や問屋、販売店や代理店などの流通業者を対象とした賛助会員制度を開始した。9月末現在で、住友林業、ジャパン建材、ナイス、ジューテックホールディングスなど計9社が入会している。

賛助会員になると、カタらボに掲載されている商品の販売窓口として、カタらボ内の賛助会員コーナーで企業名が紹介され、それぞれの企業のウェブサイトへ移動するリンクも張られる。また、賛助会員となった企業のウェブサイトをカタらボとつなぎ、自社の電子カタログとして自由に利用することも可能になる（会員以外の企業が、カタらボにリンクを張ることは禁止されている）。

ジャパン建材はすでに、自社ウェブサイトのトップページにカタらボのバナーを張り、メーカー一覧へ跳べるようになっている。住友林業はNECと共同で進めている、インターネット上で家づくりを総合支援するサービス「JHOP（ジェイホップ）」内にカタらボのバナーを張り、営業支援ツールの一つとする計画もある。

またナイスは、同社のインターネットを活用した発注システム「ナイスアドバン」とのコストの削減を目指していく方針だ。

各企業の活用法は様々で、各社のIT活用段階に則した利用が今後も進むと見られる。同協会は流通企業への連携を予定している。ジューテックホールディングスは、営業から社内業務まで総合的に活用することでペーパーレス化を進め、業務効率の向上と資源

木材商社
㈱内山商會
本社 東京都世田谷区上北沢5－43－11
TEL（〇三）三三〇二－九六七五㈹

階段プレカット 特急便
驚異!! 翌日出荷
詳しくは弊社までお問い合せ下さい。
TSC 株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349

主な記事

▽2面 ポラスグループ ポ案
▽3面 ロシア材商況 産地
▽4～6面 2×4コンポ
▽7面 岩手木材市場協組

2×4の構造チェックシステム開発

仕様規定で長期優良住宅に対応

ネットイーグル

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は来年の発売に向け、仕様規定に基づく2×4工法の構造チェックシステムを開発する。壁量計算とN値計算、告示のチェックによって耐震性能を判定するシステムで、長期優良住宅の認定などに必要な性能評価に対応できる。CAD／CAMでプレカットまでデータが連動するため、図面と現場の一致も確保できる。プレカット工場の構造設計への取り組みを後押しするとともに、長期優良住宅への対応を促す。

材料の種類が少なく、設計ルールが明確な2×4住宅は、ルールどおりに構造計画を検討すれば構造の安全性を確実に担保できる利点がある。だが、設計上の制約はそれだけ多く、構造計画を検討する際には壁量計算やN値計算、告示の確認が必要になる。今回開発するソフトを使えば、部材データや間取りから壁量やN値の計算、告示のチェックができ、住宅の耐震性能が基準を満たしているかどうかを確認できる。

すでにプレカットの加工データから荷重を自動計算し、部材の断面応力が許容値に対し、適切かどうかを判定するシステムは商品化している。ただ、長期優良住宅の認定を取ろうとすると、基礎まで含めた許容応力度計算が必要になる。

「軸組でも許容応力度計算ができる人は少ないが、2×4はさらに少ない。今回のソフト開発で、〈構造の安定（仕様規定に基づく計算）〉レベルの計算で長期優良住宅に対応できるようになる」（同社）。

同社は木造軸組プレカット同様に、2×4でもCAD／CAMプレカット工場がビルダーの設計をサポートすることによって、長期優良住宅に対応できる仕組み作りを進めている。「2×4工法は確定した図面から材料を拾うが、軸組同様にプレカットが設計するのが本来は最も合理的。データが連動すれば間違いが少なく、コスト削減にもつながる」（同）。

木とともに暮らす ⑥
ECO friend*
基材にCOC認証合板（FSC、PEFC）、国産・海外植林木、リサイクル材を製品体積の70%以上使用した環境配慮の床材です。
プリオス 介護とペット